Thunderbird の受信メールをマスターパスワードで保護するには

Thunderbird は、起動時にマスターパスワード認証することができます。この設定を行うと、受信メッセージもマスターパスワード認証後でないと閲覧できませんので、本製品を紛失、盗難された場合でも、受信メールを閲覧される危険を軽減できます。この設定を行うには、マスターパスワード設定し、プロファイルを編集することで起動時にパスワード認証するように設定できます。以下の①、②の手順で設定を行ってください。

①マスターパスワードを設定する

マスターパスワードとは、Thunderbird の設定変更やメールの受信などを、他の人が行えないように保護するパスワードです。出荷時には設定されていませんので、Thunderbird を起動してメニューバーの [ツール]-[オプション] を開く→［プライバシー］をクリック→ [パスワード] タブをクリックした画面で設定してください。

②起動時にマスターパスワード認証するように設定する

Thunderbird 起動時にマスターパスワード認証する設定を行います。

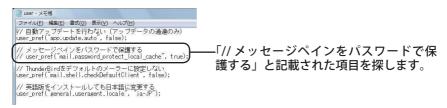
※以下の手順を行う前に、Thunderbird のマスターパスワードを設定してください。

1　**本製品の「data」フォルダにある「Mozilla_Thunderbird_Profile」フォルダを開きます。**

2　**「user」（または「user.js」）を右クリックして、「編集」を選択します。**

次のページへ続く

3 **メモ帳などの画面が表示されますので、「// メッセージペインをパスワードで保護する」と記載された項目を探します。**

「// メッセージペインをパスワードで保護する」と記載された項目を探します。

4 **手順 3 で探した「// メッセージペインをパスワードで保護する」の項目を以下のように変更します。**

【変更前】

```
// メッセージペインをパスワードで保護する
// user_pref("mail.password_protect_local_cache", true);
```

2 行目の「//user_pref…」から先頭の「//」を削除します。

【変更後】

```
// メッセージペインをパスワードで保護する
user_pref("mail.password_protect_local_cache", true);
```

2 行目を「user_pref(” mail.password_protect_local_cache” ,true);」とします。

5 **編集したファイルを上書き保存（メモ帳の場合は、[ファイル] ー [上書き保存] を選択）します。**

次のページへ続く

6 **タスクトレイの をクリックし、[Thunderbird] を選択します。**

7 **Thunderbird を起動し、パスワード認証の画面が表示されます。**

以上で完了です。これで、Thunderbird の起動時は常にマスターパスワードの認証画面が表示されます。Thunderbird を使用する場合は、マスターパスワードを入力して [OK] をクリックします。

Firefox，Thunderbird のアドオンの注意

Firefox や Thunderbird には、アドオンと呼ばれる機能を追加することが可能です。本製品の Firefox や Thunderbird にアドオンを追加する場合は、パソコンに Firefox や Thunderbird がインストールされていないことを確認してください。パソコンにインストールされていると、パソコンの Firefox や Thunderbird にアドオンが追加され、本製品の Firefox や Thunderbird には追加されません。

Thunderbird のフォルダの最適化の注意

メールフォルダの最適化を行う場合は、最適化を行うメールフォルダと同じ大きさの空き容量が必要となります。空き容量がない場合は、エラーが発生する場合がありますので、ご注意ください。